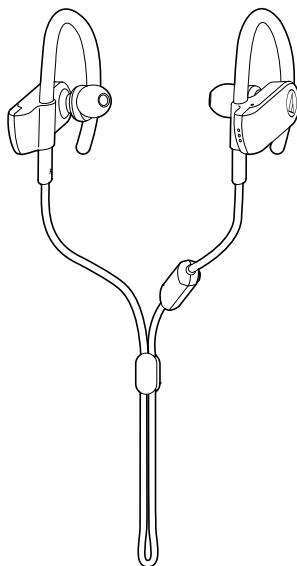




# ATH-SPORT70BT

取扱説明書  
ワイヤレスヘッドホン



audio-technica

# はじめに

お買い上げありがとうございます。

ご使用の前にクイックスタートガイド、取扱注意ガイドを必ずお読みのうえ、必要に応じてこの取扱説明書を参照して正しくご使用ください。

## 安全上の注意

本製品は安全性に充分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

### △ 危険

この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が切迫しています」を意味しています。

### △ 警告

この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。

### △ 注意

この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

## 本体について

### △ 警告

- 本製品を医療機器の近くで使用しない  
電波が心臓ベースメーカーや医療用電気機器に影響を与える恐れがあります。医療機関の屋内では使用しないでください。
- 航空機内では航空会社の指示に従い適切に使用する  
電波が影響をおよぼし、誤作動による事故の原因となる恐れがあります。
- 自動ドアや火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない  
電波が影響をおよぼし、誤動作による事故の原因となる恐れがあります。
- 分解や改造はしない  
感電、故障や火災の原因になります。
- 強い衝撃を与えない  
感電、故障や火災の原因になります。

- 異常(音、煙、臭いや発熱、損傷など)に気付いたら使用しない  
異常に気付いたらすぐに使用を中止して、お買い上げの販売店か当社サービスセンターに修理を依頼してください。
- 本製品に異物(燃えやすい物、金属、液体などを)を入れない  
感電、故障や火災の原因になります。
- 布などで覆わない  
過熱による火災やけがの原因になります。
- 自動車、バイク、自転車など、乗り物の運転中は絶対に使用しない  
交通事故の原因となります。
- 周囲の音が聞こえないと危険な場所(踏切、駅のホーム、工事現場、車や自転車の通る道など)では使用しない  
事故の原因となります。

- 外部の音が聞こえない音量で使用しない  
本製品は密閉度が高く、外部の音が聞こえにくくなります。周囲の音が聞こえる音量で、安全を確かめながら使用してください。

- イヤピースは幼児の手の届く場所に置かない  
誤飲など、事故の原因になる場合があります。

- 付属の充電用USBケーブル以外で充電しない  
故障や火災の原因になります。

- ACアダプターを使用して充電する際、急速充電機能(5Vより大きな電圧を出力する)を有する機器で充電しない  
故障の原因になります。別売の当社製USB対応ACアダプターのご使用を推奨します。

### △ 注意

- 大音量で耳を刺激しない  
耳をあまり刺激しない適度な音量でご使用ください。大音量で長時間聞くと聴力に悪影響を与えることがあります。
- 肌に異常を感じた場合は、使用しない  
すぐにご使用を中止してください。症状が回復しない場合は、医師の診断を受けてください。

- 使用中に気分が悪くなったら、使用を中止する  
本製品を耳から外してください。
- 使用後、本製品にイヤピースが付いているか確認する  
イヤピースが耳の中へ残り、取り出せない場合は、すぐに医師の診察を受けてください。

- 蒸れによりかゆみなどを感じた場合は、使用を中止する  
けがや事故の原因になります。

# 安全上の注意

## 充電式電池について

本製品は、充電式電池（リチウムポリマー電池）を内蔵しています。

### ⚠ 危険

- 電池の液が目に入ったときは目をこすらない  
すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、医師の診察を受けてください。
- 電池の液が漏れたときは素手で液を触らない
  - ・液が本製品の内部に残ると故障の原因になります。電池が液漏れを起こした場合は、当社サービスセンターまでご相談ください。
  - ・万一、なめた場合はすぐに水道水などのきれいな水で充分にうがいをし、医師の診察を受けてください。
  - ・皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。皮膚に違和感がある場合は医師の診察を受けてください。
- 火の中に入れない、加熱、分解、改造しない  
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 釘を刺したりハンマーで叩いたり踏み付けたりしない  
発熱、破損、発火の原因になります。
- 落下させたり強い衝撃を与えない  
液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- 以下の場所で使用、放置、保管しない
  - 直射日光の当たる場所、高温多湿の場所
  - 炎天下の車内
  - ストーブなどの熱源の近く液漏れ、発熱、破裂、性能低下の原因になります。

## 内蔵充電式電池の交換のしかた

本製品を充分に充電しても使用時間が短くなった場合は、内蔵充電式電池の寿命が考えられます。内蔵充電式電池の交換は、お客様ご自身で行わず、当社サービスセンターへご相談ください。

サービスセンター ☎ 0120-887-416  
(携帯電話・PHSなどのご利用は 03-6746-0212)

## 本製品を廃棄する場合 リサイクルのお願い



内蔵充電式電池はリサイクルできます。本製品を廃棄するにあたり、リサイクルにご協力いただける場合は本製品を下記宛先まで着払いにてお送りください。なお、電池を取り出したあとの本製品は返却いたしかねますので予めご了承ください。

送り先: ☎915-0003

福井県越前市戸谷町 87-1  
株式会社オーディオテクニカフクイ 二次電池回収担当 宛  
TEL:0778-25-6736 (電池回収専用)

# 使用上の注意

- ご使用の際は接続機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 万一本体、接続機器のメモリーなどが消失しても、当社では一切責任を負いません。
- 交通機関や公共の場所では、ほかの人の迷惑にならないよう、音量にご注意ください。
- 接続する際は、必ず機器の音量を最小にしてください。
- 乾燥した場所では耳にピリピリと刺激を感じことがあります。これは人全体や接続した機器に蓄積された静電気によるもので本製品の故障ではありません。
- 強い衝撃を与えないでください。
- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かないでください。
- 本製品は長い間使用すると、紫外線(特に直射日光)や摩擦により変色することがあります。
- 充電用USBケーブルを使用する際は、必ずプラグを持って抜き差してください。充電用USBケーブルを引っ張ると断線や事故の原因になります。
- 充電用USBケーブルを使用しないときは、必ず本製品から充電用USBケーブルを取り外してください。
- 充電用USBケーブルを接続した状態で、本製品をそのままバッグやポケットなどに入れるとき充電用USBケーブルが引っ掛かり、断線や故障の原因になります。
- 本製品を使用しないときは、付属のケースに収納してください。
- 本製品の機能にある受話は、携帯電話回線を使用した受話に限り有効です。それ以外(アプロなど利用してパケット通信を介している電話)は、動作保証できません。
- 本製品の近くに電子機器や発信機(携帯電話など)があると本製品にノイズが入る場合があります。その場合は離して使用してください。
- テレビやラジオのアンテナ付近で使用すると、テレビやラジオにノイズが入る場合があります。その場合は離して使用してください。
- 内蔵充電式電池を保護するため、半年に一度は充電を行なうようにしてください。放置しすぎると充電式電池の持続時間が短くなる、充電しなくなるなどの恐れがあります。
- 本製品を充電する際は、直射日光を避け、風通しの良い場所で充電してください。電池の劣化を招き、連続使用時間が短くなる、充電ができないなどの恐れがあります。
- 本製品を充電する際は、水に濡れた状態で行なわないでください。故障の原因になります。
- イヤハンガーを必要以上に屈曲させないでください。破損の原因になります。
- 長い間ご使用にならない場合は、高温多湿を避け、風通しのよい場所に保管してください。
- 炎天下の車内に放置しないでください。故障の原因になります。
- 本製品のヒアスルーモードは、内蔵されているマイクにより、本製品を装着したまま周囲の音が確認できるモードです。再生している音楽などの音量によっては、周囲の音が聞こえづらい場合があります。その場合は、音楽などの音量を小さくしてください。
- 本製品のヒアスルーモードを使用しても、周囲の状況などによって、周囲の音が聞き取りにくい場合があります。交通量の多い場所など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では、本製品を使用しないでください。
- タッチセンサーの操作は1本の指で行ってください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いもので操作すると、正しく動作しないだけでなく、タッチセンサーが傷ついたり、破損の原因となる恐れがあります。
- 爪先でタッチセンサー部をタッチしないでください。爪が割れるなどの原因となる恐れがあります。
- タッチしたときに動作しなかったり、意図しない動作をする場合は、タッチしたときに他の指や手の一部、服の裾などが触れていないかをご確認ください。なお、手袋をしていたり、手指が乾燥していると、正しく動作しないことがあります。
- 汗などでタッチセンサー部が汚れていると、正しく動作しないことがあります。汚れを取り除いてから操作してください。

# 防水性能について

- 本製品の防水性能は、運動時の汗や簡単な水洗いによる内部への液体の侵入を防止する目的で設計されています(IPX5相当)。
- 本製品はIPX 5相当の防水処理を行っていますが、音が出る部分は非耐水エリアのため、ヘッドホン内部に水が浸入すると音が出ない場合や音が聞こえにくくなる場合があります。
- 本製品は完全防水ではありません。故意に水中に沈めたり、水中で使用しないでください。また汗や水以外の液体(石けん水など)にさらさないでください。

- 本製品に汗や砂などの汚れが付着した場合は、石けん水などを使用せずに常温(10~35°C)の真水や水流の弱い水道水で洗い流してください。「音が出る部分」(非耐水エリア)へ直接、水をかけないでください。詳しくは「お手入れのしかた」(p.11)に従って、汚れを取り除いてください。
- 本製品は防湿設計ではありません。湿度の高い環境(お風呂、サウナなど)では使用しないでください。故障の原因になります。

# Bluetooth® 製品について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、この機器から別の移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の電源をお切りください。そのうえで、当社お客様相談窓口にご連絡頂き、混信回避のための処置についてお問い合わせください。
- その他、この機器から第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合やご不明な点がございましたら当社お客様相談窓口までお問い合わせください。

## 2.4FH1

この無線機器は2.4GHz帯を使用します。  
変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10mです。

本製品は日本の電波法の技術基準に適合しています。貼り付けられているラベルはその証明ラベルです。証明ラベルの貼り付けられた製品を総務省の許可なしに改造、または証明ラベルをはがして使用することはできません。これに違反すると法律により罰せられます。

## ほかの機器との同時使用

Bluetooth搭載機器・無線LANを使用する機器・電子レンジなど、本製品と同一周波数帯（2.4GHz）の電波を使用する機器の影響によって音声が途切れるなど電波干渉による障害が発生することがあります。同様に、本製品の電波がこれらの機器に影響を与える可能性もあるため、下記の点に注意してください。

- 本製品と同一周波数帯（2.4GHz）の電波を使用する機器を離して設置する。
- 病院内では使用しない。

## Bluetooth通信をより快適にお楽しみいただくために

本製品の有効な通信範囲は障害物や電波状態によって変動します。本製品を快適にお楽しみいただくために、本製品とBluetooth機器をなるべく近づけてご使用ください。本製品のアンテナ部（L）側とBluetooth機器の間に人体やそのほか障害物がないことで、ノイズや音の途切れを最小限に抑えることができます。

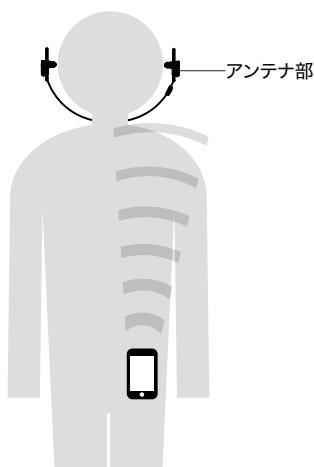
## 使用上の注意

本製品と接続する機器は、Bluetooth SIGの定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。

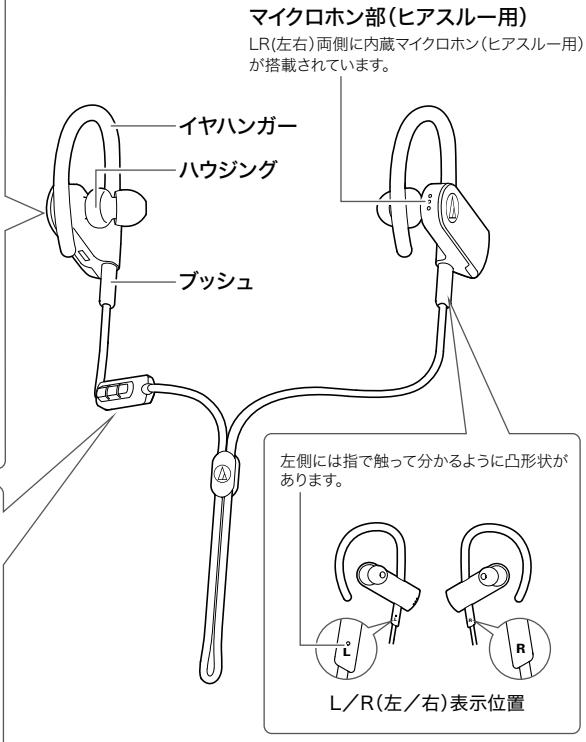
Bluetooth標準規格に適合していても、特性や仕様によっては、本製品と接続できない場合や、操作方法や動作が異なる場合があります。

## 通信距離について

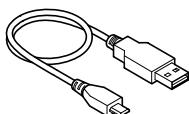
障害物や他の電子機器との電波干渉の影響を受け、通信距離内でも音切れが発生する場合があります。そのような場合は、本製品をBluetooth搭載機器の近くで使用してください。



# 各部の名称と機能



## ■付属品



・充電用USBケーブル  
(30cm)



・イヤピース<sup>\*1</sup>  
(XS, S, M, L)



・COMPLY™フォームイヤピース(M)<sup>\*2</sup>

・ケース



\*1 お買い上げ時の本体にはMサイズのイヤピースが装着されています。

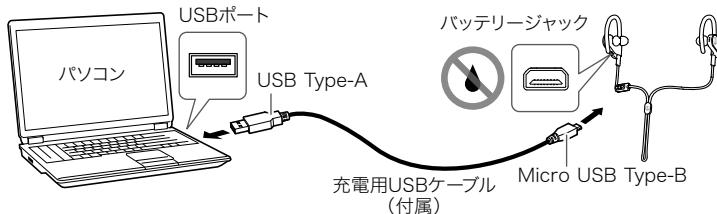
\*2 COMPLY™フォームイヤピースの使いかたや、お手入れ、交換のしかたなどは、当社ホームページからダウンロードできる「COMPLY™フォームイヤピースについて」を参照してください。

# 充電のしかた

- 初めてご使用になる場合は、充電を行ってください。
- 充電式電池の残量が少なくなった場合、本製品のヘッドホンから音が鳴り、インジケーターが赤く点滅します。音が鳴った場合は、充電してください。
- 満充電までに必要な充電時間は約3時間です。(使用条件により異なります)
- 充電中はBluetoothの接続が切れるため、本製品を使用することはできません。

1. 付属の充電用USBケーブル(Micro USB Type-B側)を本製品のバッテリージャックに接続します。

- 付属の充電用USBケーブルは本製品専用です。他製品は使用しないでください。
- USBポートやバッテリージャックに充電用USBケーブルを差し込む際は、端子が正しい向きであることを確認し、まっすぐ(水平に)差し込んでください。
- 充電する際は、水に濡れた状態で行わないでください。故障の原因になります。



2. 付属の充電用USBケーブル(USB Type-A側)をパソコンに接続して、充電を開始します。

- USB対応ACアダプター(当社別売)を使用すると、コンセントから充電することができます。
- 充電時は、インジケーターが下記のように点灯します(インジケーターの表示に数秒かかる場合があります)。
- 赤点灯:充電中  
消灯 :充電完了

3. 充電完了後、充電用USBケーブル(USB Type-A側)をパソコンから取り外します。

4. 充電用USBケーブル(Micro USB Type-B側)を本製品のバッテリージャックから取り外します。

# Bluetooth接続のしかた

## ペアリングについて

本製品とBluetooth機器を接続する場合は、本製品とペアリング（登録）する必要があります。一度ペアリングをすれば、再びペアリングする必要はありません。

ただし、以下の場合は再度ペアリングが必要です。

- ・ Bluetooth機器の接続履歴から削除された場合
- ・ 本製品を修理に出した場合
- ・ 9台以上のペアリングをした場合（本製品は合計8台までペアリング情報を保存できます。8台分をペアリングしたあとに、新たな機器をペアリングすると、8台の中で接続した日時が最も古い機器のペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。）

## ペアリングのしかた

- ・ Bluetooth機器の取扱説明書も併せてお読みください。
- ・ Bluetooth機器を本製品から1m以内に置いてペアリングを行ってください。
- ・ 確認音を聞きながらペアリングを確認する場合は、本製品を装着してください。

1. 本製品の電源が切れている状態から電源／コントロールボタンをONにします。
  - ・ インジケーターが青に点灯したあと、赤・青の点滅を始めます。
2. 接続するBluetooth機器でペアリング操作を行い、本製品を検索します。  
本製品を検索するとBluetooth機器に「ATH-SPORT70BT」と表示されます。
  - ・ Bluetooth機器の使いかたは、機器の取扱説明書をお読みください。
3. 「ATH-SPORT70BT」を選択し、接続する機器に登録します。
  - ・ 機器によっては、パスキーを要求される場合があります。その場合は、「0000」を入力してください。パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードと呼ばれる場合があります。
  - ・ 確認音が鳴るとペアリングが正常に行われ、ペアリングが完了します。



# 使いかた

本製品は、Bluetooth接続を行い音楽再生や着信を受けることができます。用途に合わせてご使用ください。  
また、Bluetooth機器による電池残量などの表示やアプリケーションの動作などは保証できませんので、あらかじめご了承ください。

## 電源ON／OFF

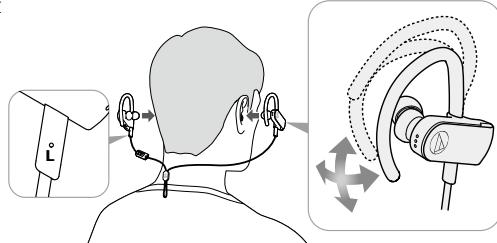
電源	電源ボタン操作		インジケーター
ON	長押し		青に点灯したあと、赤・青の点滅*1 *2
OFF			赤に点灯したあと、消灯*2

\*1 インジケーターの表示に数秒かかる場合があります。

\*2 詳しくは「インジケーター表示について」(p.14)をご確認ください。

## 装着のしかた

- 本製品の“L(左)”の表示側を左耳に、“R(右)”の表示側を右耳に装着し、イヤピースとイヤハンガーを調整します。
- イヤハンガーは、形状を自由に調整できます。耳に合うように形状を調整してご使用ください。



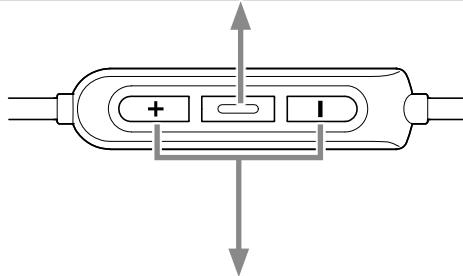
# 使いかた

## 音楽を聞く

- 初めて接続する場合は、本製品と接続する機器をBluetoothでペアリングを行ってください。一度ペアリングを行った場合は、Bluetooth機器のBluetooth接続をONにしてから、本製品の電源をONにしてください。
- 接続したBluetooth機器の取扱説明書に従って、音楽を再生してください。

### 電源／コントロールボタン

短押し	再生／一時停止	音楽や動画などの再生、一時停止をします。 <sup>*1</sup>
-----	---------	------------------------------------



### ボリュームボタン

+ ボタン	短押し	音量アップ	音量が1段階大きくなります。 <sup>*2</sup>
	長押し(約1秒)	曲送り	次の曲に送ります。 <sup>*1</sup>
- ボタン	短押し	音量ダウン	音量が1段階小さくなります。 <sup>*2</sup>
	長押し(約1秒)	曲戻し	前の曲に戻ります。 <sup>*1</sup>

\*1 一部のスマートフォンでは、音楽や動画の再生、一時停止、曲の送り／戻しなどの操作ができない場合があります。

\*2 音量が最大／最小になると確認音が鳴ります。

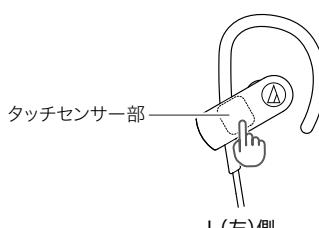
- 接続機器によっては、本製品と接続機器の音量調節がうまく連動しない場合があります。

## ヒアスルーモードを使用する

- 本製品のヒアスルーモードは、内蔵されているマイクロфонにより、本製品を装着したままで周囲の音が確認できるモードです。
- 再生している音楽などの音量によっては、周囲の音が聞こえづらい場合があります。その場合は、音楽などの音量を小さくしてください。
- 本製品のヒアスルーモードを使用しても、周囲の状況などによって、周囲の音が聞き取りにくい場合があります。交通量の多い場所など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では、本製品を使用しないでください。
- ヒアスルーモードがONのとき、周囲の音を取り込むため、音楽などの音量が自動的に小さくなります。
- 音量が最大／最小のとき、ヒアスルーモードをON／OFFすると確認音が連続して鳴りますが、本製品の故障ではありません。
- タッチセンサー部に触れながら電源を入れたり、使用する環境によってヒアスルーモードが使用できない場合があります。その際は本製品の電源を切り、約5秒以上経過してから電源を入れ直してください。

ヒアスルーモードをONにするには、本体のL(左)側の中央にあるタッチセンサー部にタッチしてください。

- OFFにする際は、再度タッチセンサー部にタッチしてください。
- ONになると確認音が1回、OFFになると確認音が2回鳴ります。



# 使いかた

## 通話する

- Bluetooth機器に電話機能が搭載されている場合、本製品を使用して通話ができます。
- Bluetooth機器が着信すると、本製品から着信音が鳴ります。
- 音楽再生中に着信があった場合は、音楽が一時停止します。通話が終了すると、音楽再生が再開します。\*

状況	操作	動作
着信時	電源／コントロールボタンを押します。	電話を受けます。
	電源／コントロールボタンを長押し(約3秒)します。	着信を拒否します。
通話中	電源／コントロールボタンを押します。	通話を終了します。
	電源／コントロールボタンとボリュームボタン(+)を同時に押します。	同時に押すたびに、Bluetooth接続している携帯電話での通話と本製品での通話に切り換わります。
	ボリュームボタン(+/-)を押します。	通話音量(+/-)を変更します。

\*接続しているBluetooth機器によっては音楽再生が再開しない場合があります。

- 一部のスマートフォンでは、上記通話時の操作ができない場合があります。

## オートパワーオフ機能

本製品は、電源がONの状態で、5分間機器と接続しない状態が続くと自動的にOFFになります。

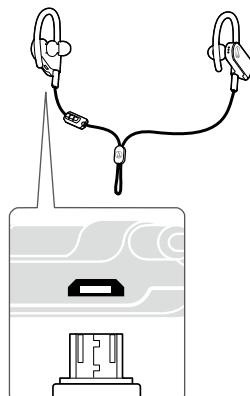
## リセット機能

本製品が動作しないなど、不具合が生じた場合は、「充電のしかた」(p.6)を参考に通電している状態の充電用USBケーブルを差し込んでリセットしてください。

充電用USBケーブルの抜き差しすることで症状が改善します。改善しない場合は、お手数ですが当社サービスセンターまでお問い合わせください。

リセットしても、ペアリング設定や音量などは初期化されません。\*

\*SBC優先接続(p.14)は解除されます。

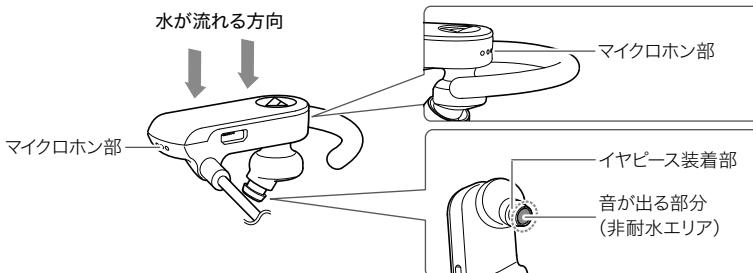


# お手入れのしかた

長くご使用いただくために各部のお手入れをお願いいたします。お手入れの際は、アルコール、シンナーなど溶剤類は使用しないでください。

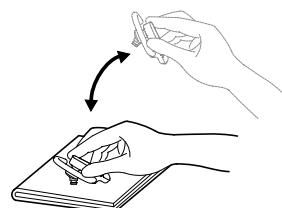
## 本体

- ・本体をお手入れする際は、イヤピースを取り外してください。
- ・汗や砂などの汚れが付着した場合は、石けん水などを使用せずに常温(10~35°C)の真水や水流の弱い水道水で洗い流してください。
- ・本体外側から洗い流し、「音が出る部分」(非耐水エリア)へ直接、水をかけないでください。
- ・ブラシやスポンジなどを使用せずに手で洗うようにしてください。
- ・本製品はIPX5相当の防水処理を行っていますが、音が出る部分は非耐水エリアのため、ヘッドホン内部に水が浸入すると音が出ない場合や音が聞こえにくくなる場合があります。
- ・特にイヤピース装着部(下図参照)は、イヤピースを通して皮脂などの汚れが付着します。汚れが付着したまま使用すると、イヤピースが外れやすくなります。こまめに汚れを拭いてください。なお、音が出る部分は繊細なため、触らないようにしてください。故障の原因になります。



洗い終わった後は、次の手順で拭いてください。

1. 表面の水分を乾いた清潔で柔らかい布などでよく拭いてください。
2. 本製品をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。
  - ・「音が出る部分」と「マイクロホン部」に水気が残ると、音が出ない場合があります。その場合は、右図のように乾いた布を当て、「音が出る部分」と「マイクロホン部」を下側にして、それぞれ20回程度振ってください。
3. 「音が出る部分」と「マイクロホン部」などの隙間にたまつた水は乾いた清潔で柔らかい布などに本製品を軽く押し当てて拭き取ってください。
4. 風通しのよい日陰で充分に乾かしてください。
  - ・ドライヤーなどの熱風を直接当てないでください。
  - ・隙間に溜まつた水を綿棒などで直接拭き取らないでください。



# お手入れのしかた

## ケーブル・イヤピース

- ・ケーブルが汗などで汚れた場合は、使用後すぐに乾いた布で拭いてください。汚れたまま使用すると、ケーブルが劣化して固くなり、故障の原因になります。
  - ・充電用USBケーブルのUSB端子が汚れた場合は、乾いた布で拭いてください。
  - ・イヤピースの洗浄は、ヘッドホンからイヤピースを取り外し、うすめた中性洗剤で手洗いしてください。洗浄後は乾いてからご使用ください。
- ・長い間ご使用にならない場合は、高温多湿を避け、風通しの良い場所に保管してください。

## イヤピースについて

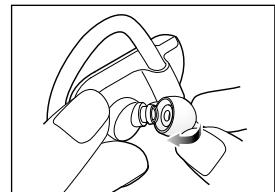
### イヤピースのサイズ

本製品は、4サイズのイヤピースXS、S、M、LとCOMPLY™フォームイヤピース(Mサイズ)の2種類を付属しており、お買い上げ時はイヤピースのMサイズが装着されています。より良い音質で楽しんでいただくために、それぞれのイヤピースのサイズを換えて、イヤピースを耳の收まりの良い位置に調整してください。イヤピースが耳にうまく装着されていないと低音が聞こえにくことがあります。

## 交換のしかた

消耗したイヤピースを取り外し、新しいイヤピースを斜めから押し当てます(右図参照)。イヤピースの内側を広げるように強く押し込み、奥までしっかりと取り付けけてください。

- ・イヤピースが外れにくい設計にしているため、取り付けがきつくなっています。



- ・イヤピースは汚れが付きやすいため、定期的に取り外してお手入れをしてください。汚れが付いたまま使用すると、イヤピースを通して本体の音が出る部分が汚れ、音質が悪くなる恐れがあります。
- ・イヤピースは消耗品のため、保存や使用により劣化します。イヤピースが外れやすくなるなどの劣化が見られた場合は交換イヤピースを販売店でお買い求めください。
- ・一度外したイヤピースを本体に付ける際は、確実に取り付けられているかを確認してください。イヤピースが耳の中に残ったまま放置すると、けがや病気の原因になります。

# 故障かな?と思ったら

問題	解決方法
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"><li>・本製品を充電してください。</li></ul>
ペアリングができない	<ul style="list-style-type: none"><li>・当社ホームページで、Bluetooth対応携帯電話の適合機種をご確認ください。</li><li>・Bluetooth機器の通信方式がVer.2.1+EDR以上であることをご確認ください。</li><li>・本製品とBluetooth機器の距離を1m以内に近づけてください。</li><li>・Bluetooth機器のプロファイルを設定してください。設定方法は、Bluetooth機器の取扱説明書をお読みください。</li><li>・Bluetooth機器の本製品とのペアリング情報を削除してから、再度本製品とペアリングしてください。</li></ul>
音が出ない／音が小さい	<ul style="list-style-type: none"><li>・本製品とBluetooth機器の電源を入れてください。</li><li>・本製品とBluetooth機器の音量を大きくしてください。</li><li>・HFP／HSP接続の場合は、A2DP接続に切り換えてください。</li><li>・本製品とBluetooth機器の間に人、金属、壁などの障害物を無くし、距離を近づけてください。</li><li>・Bluetooth機器の音声出力先をBluetooth接続に切り換えてください。</li></ul>
音が割れる／ノイズが出る／音が途切れる	<ul style="list-style-type: none"><li>・本製品とBluetooth機器の音量を小さくしてください。</li><li>・本製品から電子レンジ、無線LANなど電波を発する機器を離してください。</li><li>・本製品からテレビ、ラジオやチューナー内蔵機器を離してください。これらの機器に影響を与える場合があります。</li><li>・Bluetooth機器のイコライザー設定をオフにしてください。</li><li>・本製品とBluetooth機器の間に障害物を無くし、距離を近づけてください。</li></ul>
相手の声が聞こえない／相手の声が小さい	<ul style="list-style-type: none"><li>・本製品とBluetooth機器の電源を入れてください。</li><li>・本製品とBluetooth機器の音量を大きくしてください。</li><li>・A2DP接続の場合は、HFP／HSP接続に切り換えてください。</li><li>・Bluetooth機器の音声出力先をBluetooth接続に切り換えてください。</li></ul>
本製品の充電ができない	<ul style="list-style-type: none"><li>・付属の充電用USBケーブルを確実に接続して充電してください。</li></ul>
音が遅れる(映像と音声がずれる)	<ul style="list-style-type: none"><li>・「SBC優先接続について(著しく音が遅れる場合の対応)」(p.14)を参照し、接続コードをSBCに変更してください。</li></ul>
ヒアスルーモードが使用できない	<ul style="list-style-type: none"><li>・「ヒアスルーモードを使用する」(p.9)を参照し、本製品の電源を切り、約5秒以上経過してから電源を入れ直してください。</li></ul>

- ・Bluetooth機器の操作に関しては、機器により操作が違うため、お持ちのBluetooth機器の取扱説明書をお読みください。
- ・不具合が解消されない場合は、本製品をリセットしてください。リセットは「使いかた」の「リセット機能」(p.10)を参照してください。

# 故障かな?と思ったら

## SBC優先接続について(著しく音が遅れる場合の対応)

接続コーデックがAACのとき、Bluetooth機器が標準で搭載するSBCに変更することで、著しい音の遅れが緩和される場合があります。<sup>\*1</sup>

### 接続のしかた

#### Bluetooth機器とペアリングが完了している場合

1. Bluetooth機器の通信を切り、本製品と接続しないようにします。
2. 本製品の電源をONにします。
3. インジケーターが機器検索中の状態でボリュームボタンの+ボタンと-ボタンを同時に長押し(約1秒)します。
  - ・インジケーターが紫色に点滅します。
4. インジケーターが紫色に点滅している状態で、Bluetooth機器の通信を再開して接続します。
  - ・インジケーターが青色3回の点滅に変われば設定完了です。

#### Bluetooth機器とペアリング前の場合

1. 本製品の電源をONにします。
2. インジケーターが機器検索中の状態でボリュームボタンの+ボタンと-ボタンを同時に長押し(約1秒)します。
  - ・インジケーターが紫色に点滅します。
3. インジケーターが紫色に点滅している状態で「ペアリングのしかた」(p.7)の手順2と3を参照してペアリングの操作を行います。
  - ・インジケーターが青色3回の点滅に変われば設定完了です。
  - ・SBC優先接続でペアリング完了後は、接続コーデックはSBCのみになります。他のコーデックでは接続されません。<sup>\*2</sup>
  - ・インジケーターの点滅・点灯表示については下記「インジケーター表示について」を参照してください。

\*1 ご使用の環境によっては、SBC優先接続に変更しても音の遅れが緩和できない場合があります。

\*2 電源を切って再度電源を入れると、通常の接続に戻り、他のコーデックでの接続が有効になります。SBC優先接続が必要な場合は、その都度SBC優先接続の操作を行ってください。

## インジケーター表示について

本製品のインジケーターの点滅・点灯表示により、下記の動作状態を意味しています。

動作状態		インジケーター表示パターン	● 赤色	● 青色	● 紫色
ペアリング	機器検索中	● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●			点滅
	機器検索中(SBC優先接続時)	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■			
接続	接続中	● — — — — — — — ● — — — —			
	接続中(SBC優先接続時)	● — ● — ● — — — — ● — ● — ● —			
電池残量	電池残量 少ない	ペアリング・接続状態の青表示が赤表示に変わります。			
充電	充電中	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■			点灯
	満充電	— — — — — — — — — — — — — —			消灯

# テクニカルデータ

## ヘッドホン部

型式	ダイナミック型
ドライバー	φ9mm
出力音圧レベル	93dB/mW
再生周波数帯域	20～20,000 Hz
インピーダンス	16Ω

## マイクロホン部

型式	エレクトretトコンデンサー型
指向性	全指向性
感度	-42dB(1V/Pa. at 1kHz)
周波数帯域	50～8,000Hz

## 通信仕様

通信方式	Bluetooth標準規格Ver.4.1準拠
RF出力	6mW EIRP
最大通信距離	見通しの良い状態で10m以内
使用周波数帯域	2.4GHz帯(2.402GHz～2.480GHz)
変調方式	FHSS
対応Bluetoothプロファイル	A2DP、AVRCP、HFP、HSP
対応コーデック	AAC、SBC
対応コンテンツ保護	SCMS-T方式
伝送帯域	20～20,000 Hz

## その他

電源	DC3.7V リチウムポリマー電池(内蔵式)
充電時間	約3時間*1
使用可能時間	連続通信(音楽再生時)：最大約6時間*1*2 連続待ち受け：最大約14時間*1
質量	28.5g
使用温度範囲	5°C～40°C
付属品	<ul style="list-style-type: none"><li>・充電用USBケーブル(30cm、USB Type-A / Micro USB Type-B)</li><li>・イヤピース(XS、S、M、L)</li><li>・COMPLY™フォームイヤピース(M)</li><li>・ケース</li></ul>
交換品(別売)	<ul style="list-style-type: none"><li>・イヤピース ER-CKM55 XS、S、M、L</li><li>・USB対応ACアダプター AD-SU505JEA</li></ul>

\*1 使用条件により異なります。

\*2 ヒアスルー使用時でも再生時間は変わりません。

改良などのため予告なく変更することがあります。

・Bluetoothワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、株式会社オーディオテクニカは、ライセンスに基づきこのマークを使用しています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。

・“AAC”ロゴはドルビーラボラトリーズの商標です。

# 適合機種について

Bluetooth対応携帯電話の適合リストについては、当社ホームページまたはお客様相談窓口でご案内しています。

PCサイト  
(お客様相談窓口) [www.audio-technica.co.jp/atj/support/](http://www.audio-technica.co.jp/atj/support/)

モバイルサイト [www.audio-technica.co.jp/i/](http://www.audio-technica.co.jp/i/)

本製品は、各国の電波法の適合または認証を取得している国でのみ使用できます。  
販売国以外では使用できません。

## お問い合わせ

### アフターサービスについて

本製品をご家庭用として、取扱説明や接続・注意書きに従ったご使用において故障した場合、保証書記載の期間・規定により無料修理をさせていただきます。修理ができない製品の場合は、交換させていただきます。お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために保証書と共に大切に保管し、修理などの際は提示をお願いします。

### お問い合わせ先(電話受付／平日9:00～17:30)

製品の仕様・使いかたや修理・部品のご相談は、お買い上げのお店または当社窓口およびホームページのサポートまでお願いします。

- ・ お客様相談窓口(製品の仕様・使いかた) ☎ 0120-773-417  
(携帯電話・PHSなどのご利用は 03-6746-0211)  
FAX: 042-739-9120 Eメール: [support@audio-technica.co.jp](mailto:support@audio-technica.co.jp)
- ・ サービスセンター(修理・部品) ☎ 0120-887-416  
(携帯電話・PHSなどのご利用は 03-6746-0212)  
FAX: 042-739-9120 Eメール: [servicecenter@audio-technica.co.jp](mailto:servicecenter@audio-technica.co.jp)
- ・ ホームページ(サポート) [www.audio-technica.co.jp/atj/support/](http://www.audio-technica.co.jp/atj/support/)

株式会社オーディオテクニカ

〒194-8666 東京都町田市西成瀬2-46-1

[www.audio-technica.co.jp](http://www.audio-technica.co.jp)

©2018 Audio-Technica Corporation

ver.1 2017.11.15  
138900980-01-03 ver.3 2018.11.15